

公開シンポジウム
コーパスから始まる例文づくり

様子・予想・傾向を表す表現

2016.3.21
一橋大学 太田陽子
yoko.ota@r.hit-u.ac.jp

1. 様子・予想・傾向を表す表現

	形式	出現数	該当級		形式	出現数	該当級
傾向の接尾辞	がち	3,884	3級	表 予想 見込みだ 見通しだ 可能性の 見込みがある 文末 おそれがある	見込みだ	184	1級
	ぎみ	1,950	2級		見通しだ	108	1級
	っぽい	5,586	2級		見込みがある	63	1級
	めく	972	1級		おそれがある	1,881	2級
様子・状態の接尾辞	だらけ	1,916	3級				
	まみれ	504	1級				
	ずくめ	175	1級				

2. がち vs ぎみ — 教材のなかの練習・例文

- この路線のバスは雨の日は遅れがちだ。
- 今朝は渋滞のせいでバスが遅れぎみだ。
遅刻しそうだ。

(松本ほか2008)

- ◆がち=～の状態になりやすい傾向がある。
- ◆ぎみ=程度はあまり強くないが、～の傾向がある。(どんな: 68)
- ※いずれもマイナスの状態について述べられることが多い。

【練習例】

- 子どものころは体が弱く、病気がちだった。
(研究社: 125)
- 最近、ちょっと太り(a.がち (b.ぎみ))だから、デザートはやめておくれ。
(松本ほか2008: 103)

- ※「病気がち」⇒*風邪がち *ケガがち
- ※「意味」を理解しても産出につながらない。
実際には違う意味なのに、説明が似る。

3. それぞれの使用傾向から見えること

<本発表で扱う観点>

- 前接する語について
 - ①名詞が前接する場合
 - ②動詞が前接する場合
- 共起しやすい語について

使用傾向はかなり違う
⇒生かした導入・練習を

3. それぞれの使用傾向から見えること

結果1: がち=動詞中心
ぎみ=名詞中心

	がち	ぎみ
出現数	3,884	1,950
前接語	動詞(74.4%)	名詞(59.1%)
の品詞	助動詞(13.7%)	動詞(36.7%)
	名詞(10.5%)	助動詞(2.5%)

◆「がち」の名詞接続について

	がち	ぎみ
前接語 (名詞)	遠慮(166) 病気(64) 伏し目(29) 黒目(26) 留守(20)	風邪(100) 興奮(87) 不足(51) 緊張(31) 乾燥(30)
生産性指数	2.2	10.4

結果2：「がち」の名詞接続は生産性が低い。
⇒ 上位5語で74.7% (305/408例)

産出のためには「がち」の意味から考えるのではなく「語彙」的な学習が効果的か
(意味も2種類)

◆動詞が前接する場合<がち>

	がち	ぎみ
前接語 (名詞以外)	なる(603) (ら)れる(520) する(399) しまう(295) ある(221)	疲れる(58) 遅れる(47) (ら)れる(44) 太る(33) おさえる(33)
生産性指数	5.8	7.3

結果3：

がち = 機能的な意味の動詞

具体性を示す語は、さらにその前に来る。

- …気合が入りすぎて、やることなすことうまくいかないということになりがちです。

(『あなたの人生開運本』PB41_00177)

- …調理に手間がかかる魚は敬遠されがちです。

(『広報わたり』OP08_00003)

- …そのため、つい、相手を攻撃したり傷つけたりしてしまいがち。

(『闇の世界権力をくつがえす日本人の力』PB43_00783)

⇒ がち = こうした語と組み合わせた産出練習が生産的か。

◆動詞が前接する場合<ぎみ>

	がち	ぎみ
前接語 (名詞以外)	なる(603) (ら)れる(520) する(399) しまう(295) ある(221)	疲れる(58) 遅れる(47) (ら)れる(44) 太る(33) おさえる(33)
生産性指数	5.8	7.3

がち = 機能的な意味の動詞

具体性を示す語は、さらにその前に来る。

ぎみ = 具体的な状態を表す動詞

◆前文脈に多い語

	がち	ぎみ
前文脈に 多い語	つい(146) どうしても(110) とかく(100) ともしれば(48) ばかり(57)	少し(109) ちょっと(104) やや(103) 最近(67) 少々(37)

結果4：

それぞれの意味を支える共起表現

がち：～の状態になりやすい傾向がある
(非意図性・不本意)

ぎみ：程度は強くないが、～の傾向がある

4. 例文・練習に対する提案①

使い分け練習(1) 慣用的な性格が強いもの

- 1) 子どものころは _____ がちで、両親に心配をかけた。
- 2) 子どものころは体が弱く、
病気 (a.がち b.ぎみ) だった。
- 3) 昨日から風邪 (a.がち b.ぎみ) で、つらい。

表現によっては、「意味」スキーマから産出するよりも「語彙」として練習するほうが負担が少ない。
⇒ 特に「名詞+がち」

例文・練習に対する提案②

使い分け練習（２）どちらの語にもつく場合

- 1) バスが遅れ (a.がち b.ぎみ)
- 2) 太り (a.がちな b.ぎみの) 人
- 3) 成績が下がり (a.がち b.ぎみ)

意味の違いを確認するために、
変数（前接語）をそろえた例文・練習
＝定番！

例文・練習に対する提案②

こうした練習に利用しやすい語をコーパス
で見つけることができる。

名詞：便秘、不足、故障

動詞：遅れ-、滞り-、湿り-、太り-
引きこもり-、サボり-

⇒例文・練習の作成に役立つ。

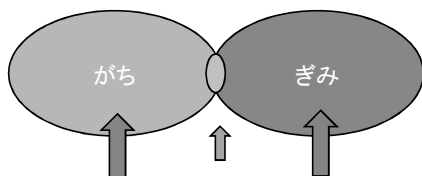
ただし、以下の場合、両者の違いは小さくなる。

- ① 「最近」の「なりやすい傾向」を述べる場合
田中君、最近、元気ないね。
〔授業もサボりがちだし。
〔授業もサボりぎみだし。
- ② 「がち」が単に「そういう様子で」の意の場合
彼女は〔遠慮がちに
〔遠慮ぎみに 話し始めた。

練習・例文に対する提案③

- ・常にさまざまな語が「がち／ぎみ」両方に使えるわけではない。
- ・そもそも両者の前接語の傾向は異なる。

	がち	ぎみ
前接語 (名詞以外)	なる(603) (られる(520) する(399) しまう(295) ある(221)	疲れる(58) 遅れる(47) (られる(44) 太る(33) おさえる(33)



「類義表現」として学ぶ上で、同じ言葉を出発点にして違いを知るよりも、よく使われる語を生かして「典型」を身に着けるほうが、結果的に理解／産出につながるのではないか。

「がち」「ぎみ」の例文例

- ・「がち」

よくない状態になりやすい、または、マイナスの事態がしばしば起こることを表す。

- ・寝不足のときは、どうしてもミスが多くなりがちだ。
- ・歓送迎会の多いこの時期は、つい食べ過ぎてしまいがちです。

「ぎみ」

それほど強い程度ではないが、少しそういう傾向・状態があることを表す。

- ゆうべからちょっと風邪**ぎみ**で、なんとなく調子が悪い。
- 最近、疲れ**ぎみ**だから、今度の週末はゆっくりしたい。

5. まとめ

- 全体をカバーする「意味」の記述は抽象的になりやすく、結果的に似たような説明にもなりやすい。
- 意味のスキーマでは「例外」が多くなるものがある。

- 「がち／ぎみ」は意味も使用傾向も異なる。

がち	ぎみ
動詞が主に前接	名詞が主に前接
名詞前接の生産性低い	さまざまな語がつく
補助動詞や「する・なる」など機能語的な動詞が前接	具体的な状態を表す動詞が前接
つい・どうしても・とかく	少し・ちょっと・最近

5. まとめ

- 生産性の低いものは、意味スキーマからの産出よりも「語彙」的に扱う方が負担が軽くなるのではないか。⇒生産性指数
- 「典型」をつかむことができる例文・練習をコーパスの具体的な傾向から考える。
⇒ よく使われる前接語
現れやすい共起表現
- ◆ 実際に「産出につながる」練習・例文に。
- ◆ 「似たような表現」の違いを例文から明確に。

引用文献

- 1) 『初級から中級への日本語ドリル<文法>』
松本節子・佐久間良子・浜畑祐子・岩見千恵子・菅野章子・盛田真規子 (2008)
ジャパントイムズ
- 2) 『テーマ別 中級から学ぶ日本語 (改訂版)』
松田浩志・亀田三保・惟任将彦・安本博司・山田勇人 (2003) 研究社
- 3) 『新装版 どんなときどう使う日本語表現文型辞典』 友松悦子・宮本淳・和栗雅子 (2010) アルク